

2024 年度派遣交換留学修了届

HP 上で公開しますので、個人情報記入しないようにしてください。

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告いたします。

■ 基本情報

留学先国	アメリカ
留学先大学	Snow College
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他
学年歴	1 学期：8 月下旬～12 月中旬
学生数	約 5000 名
創立年	1888 年
留学先での所属学部	ESL
留学時の学年	4 年
留学開始・終了時期	2024 年 8 月 20 日～2024 年 12 月 15 日（約 4 カ月）

■ 留学先での生活について

大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？	
日本の田舎のようですが土地が有り余っている感じでした。日常生活を送る分には徒歩で過ごせますが、遊びに行くには車移動が必須かなと思います。寮から徒歩 15 分くらいの公園がお気に入り気分転換によくそこに行っていました。	
留学中はどこに住んでいましたか？	
a. 大学寮	(☐)： 何人部屋でしたか (2 人)
b. アパート	()： 何人部屋でしたか (人)
c. ホームステイ	()： 何人部屋でしたか (人)
d. その他	()： 具体的に：

住環境はどうでしたか？
シェアスペースが 8 人共同でそこから二人部屋にそれぞれ分かれているというような感じでした。ルームメイトの日本人が最初の三か月ほどアメリカ人の彼氏のところに行っていて一人だったのですが、二人のときと比べると一人の方が圧倒的に楽でした。他の部屋のアメリカ人たちが全く掃除ができなくて、さらに毎日夜遅くまで騒がしくてずっと部屋に引きこもっていました。あとトイレが詰まりやすかったです。それ以外は空調も整っているため快適でした。
現地のインターネット環境はどうでしたか？
大学と寮に Wi-Fi が完備されていて、非常に快適でした。
食事はどうしましたか？
a. 大学・寮のミールプラン (○) b. 主に外食 () c. 自炊と外食が半々程度 () d. その他 () 具体的に：
留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？
主に授業を通して交流を深めました。慣れてきたら自分から積極的に挨拶をしたり、休日に遊びに誘ったりして交流を深めていきました。
余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？
基本的に日本人の友達とずっと遊んでいました。サンクスギビングはニューヨークに行きました。たまに外国人の友達と遊びに行ったり、Tripp という大学の組織のようなものが提供しているツアーに申し込んでラスベガスなど遠くに遊びに行ったりもしました。
健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。
よく頭が痛くなるので痛み止めをたくさん持っていきました。乾燥が想像以上に酷くて唇がガサガサになったので、保湿力の高いリップクリームを持っていくことをオススメします。
文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
ユタ州はモルモン教の活動が活発で信者の人を何人も見ました。私は特にモルモン教に関わりませんでしたが、友達が教会に行かないかと誘われているところを見ました。文化や習慣の違いも最初はカルチャーショックを受けますが、いずれ慣れます。服に関しては、基本的に大学と寮の往復しかないのでそこまで多く持っていく必要はないです。私は遊びに行くとき以外は基本ダル着でいけました。アメリカの食べ物は全体的においしかったです、日本食(特に味噌汁)はやはりあると嬉しかったです。小さめのお鍋を一つ持っていくと便利です。

どのような保険に加入しましたか。()に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 ()
b. 個人の保険のみ ()
c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (O)
予防接種は必要でしたか。()に○をつけてください。
a. はい () 具体的に：
b. いいえ (O)
現地で病院に掛かったことはありましたか？
私はありませんが、友達が何人か行っていました。
大学内の医務室・診療所（附属病院など）で医療サービスを受けることは可能でしたか？
受けていないので分かりません。
学内外で問題があった時には誰に相談しましたか？留学先に相談窓口はありましたか？
日本人の友達に相談していました。相談窓口もあったと思います。
現地での危険情報をどの様に収集し、どのような防犯対策をしましたか？
始めは非常に警戒していましたが本当に平和な場所だったので途中から特に何もしていません。ラスベガスやニューヨークなど都会に行ったときは怪しい場所・人からは離れたり、荷物から目を離さなかったり、常に警戒していました。

■ 留学先での学習について

留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします
レベル3は Composition, American Culture, Listening, Grammar, Reading, Conversation, International Student レベル4は TOEFL, Intro to Research, Intro to Literature, American Culture, Conversation 平日は毎日授業があって一日3 5個の授業があります。授業の開始・終了時間は曜日によって異なりますが、授業時間は全体で 8:30 16:20 まであって、一コマ 50 分です。
授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
現地のノートは高いので日本から数冊持っていくことをオススメします。パソコンも必須です。課題の量が他のレベルと比べて本当に多かったので、友達と協力して終わらせていった方がいいです。

授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

レベル3 に関しては、授業内容自体は比較的簡単です。課題の量だけ覚悟しとけば大丈夫です。レベル4 に関しては、授業の難易度がレベル3 とは圧倒的に異なります。課題の量も多いので頑張ってください。

■ 留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

外部語学試験	
〔留学前〕 TOEFL iBT 49 点	〔留学後〕 TOEFL iBT 50 点
資格試験	
〔留学前〕	〔留学後〕

■ 今後の進路等について

卒業時期について教えてください。（わかる範囲で結構です）○をつけてください。

- a. (☐) 4年で卒業予定
- b. () 卒業は延期する予定(延長予定期間:)

就職・進学のための活動について教えてください。（留学中にしたこと、留学後の予定など）

就活を終わらせてから留学に行ったので、留学中は時々就職先に返信するくらいで特に何もしていません。留学に行くことは事前に就職先に伝えていました。留学中に卒論を進めることは体力的・精神的に無理だったので帰国後に仕上げました。このまま卒業して就職予定です。

■ 留学全般について

留学を終えての学習成果を教えてください。

訛り英語に対してのリスニング力が圧倒的に上がりました。ネイティブ達の速い英語は最後まで聞き取れませんでした。最初の頃と比べるとスキルは向上したように感じます。スピーキング力に関しても、はじめは思うように言葉がでなくて躓いていましたが、最後の方は簡単な文法ですがスラスラと話せるようになりました。英語を使ってのコミュニケーション力は確実に上がったと思います。

留学して、何が変わったと思いますか。

日本というコミュニティがどれだけ狭かったのか痛感しました。アメリカには本当に様々な人種の方がいらっしゃるの、聞いたことのある国や聞いたことのない国まで、多くの友人ができました。一人ひとり生きてきた環境が全く違うので、その分新たなことをたくさん知ることができてとてもワクワク

クしました。これからも多くのことを知って、人生をより豊かにしていきたいと感じました。

留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

私のように留学に行くことが夢だという人は学生のうちに絶対に行った方が良いでしょう。充実した毎日を送れるはずです。また、四か月と聞くと非常に長いように感じますが、案外一瞬で過ぎ去ります。むしろまだアメリカに滞在していたいくらいでした。派遣交換留学に応募する前だったり、それこそ出発前だったり、不安に感じる場面はたくさんあると思いますが、その不安を超える楽しみを味わうことができます。迷っている人は勇気を出して行動してみてください。後悔は絶対にしません。

■ 学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:	
Reading		リーディング	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	2024/8/27 2024/10/15		
単位数			
本学での単位認定状況			
授業形態	対面		
授業時間数	105 分 × 週 2 回		
担当教授	Jeannie Kleinhans		
授業内容	リーディング問題のトピックに関するディスカッション、Collocation、その他諸々		
試験・課題など	リーディング問題を解く、お題に対する意見文を書く、単語テスト、その他諸々、大きい試験 2 回		
学習成果（自由記入）	単語力が上がりました。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:	
Listening		リスニング	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	2024/8/27 2024/10/16		
単位数			
本学での単位認定状況			

授業形態	対面
授業時間数	50 分 × 週 5 回
担当教授	Jeannie Kleinhans
授業内容	リスニングを聞いてノートを取る、グループごとにノートを板書して先生のノートと見比べる、外部講師を招いてノートを取る
試験・課題など	授業とはトピックが異なるリスニングのノートを取り写真を撮って提出、小テスト、その他諸々、大きい試験 2 回
学習成果（自由記入）	リスニング時のノートの取り方が非常に良くなりました。略語や記号の使い方が上手になりました。単語力も上がりました。

■ 学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:	
Grammar		文法	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	2024/8/27 2024/10/15		
単位数			
本学での単位認定状況			
授業形態	対面		
授業時間数	50 分 × 週 2 回		
担当教授	Gwen Jones		
授業内容	全ての英文法を学ぶ基礎的な授業		
試験・課題など	授業で習った文法の復習、英単語の変化形を一つずつ書いて英文を一文考える、お題に沿った文章作成、その他諸々、大きい試験約 4 回		
学習成果（自由記入）	英語の基礎的な部分が元々弱かったので非常にタメになる授業でした。三単現の s や現在完了形など今までよく分かっていなかったのですが、この授業のおかげで理解することができました。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:	
American Culture		アメリカ文化	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	2024/8/28 2024/10/11		
単位数			

本学での単位認定状況	
授業形態	対面
授業時間数	50 分 × 週 3 回
担当教授	Alex Peterson
授業内容	アメリカの文化と世界各国を比較する、ネイティブアメリカンについて学ぶ
試験・課題など	トピックに関する単語クイズ、単語穴埋めクイズ、グループプレゼン 2 回、個人プレゼン 1 回、大きい試験 1 回
学習成果（自由記入）	アメリカだけでなく世界各国の文化をこの授業を通して学ぶことができました。友達の一夫多妻制をテーマにしたプレゼンはよく覚えています。私の作ったマリファナについてのプレゼンは大好評でした。

■ 留学費用について

			現地通貨：USD	円換算：\$ 1 = ¥ 155
留学費用項目	現地通貨	日本円（換算）	その他（備考欄）	
授業料	0	0	授業料は現地大学に支払う代わりに追手門学院大学へ支払いました	
滞在費	\$2204	¥ 340,981	寮費 + ミールプラン	
食費	\$800	¥ 125,000		
図書費	0	0		
学用品費	0	0		
教養娯楽費	0	0		
被服費	\$130	¥ 20,000		
医療費	0	0		
保険費	\$380	¥ 59,010		
渡航旅費（航空運賃・空港税など）	\$2,747	¥ 425,837	ホテル費含む	
雑費	\$1,273	¥ 197,270	娯楽費、旅行費等	
その他				
その他				
その他				
合計	\$7,536	¥ 1,168,098		

以上
